

広報 すぎなみ

公園も時代や
人と共に

Suginami



支えあい共につくる
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並

9/1
令和元年(2019年)
No.2261

子どもは元気に遊びたい、大人は健康のために活用したいし、時には緑を感じながら一休みしたい。乳幼児でも遊べる遊具があって、週末には家族でキッチンカーを利用する楽しみがあってもいい。私たちの近所に当たり前のようにある「公園」ですが、まだまだ素敵なカタチに変わっていきそうです。未来に向けて策定した「公園づくり基本方針」、ご紹介します。

未来の公園のカタチ

特集

杉並区 多世代が利用できる 公園づくり基本方針

Contents —主な記事—

6 | 敬老のお祝い行事 7 | 杉並区プレミアム付商品券²の販売 16 | 9~11月は杉並区健康づくり推進期間

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 | ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) | 🌐 区ホームページ: <https://www.city.suginami.tokyo.jp/> | 📄 発行: 杉並区 | 📝 編集: 広報課

広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。

杉並区 多世代が利用できる 公園づくり基本方針

これからの「公園」を考える!

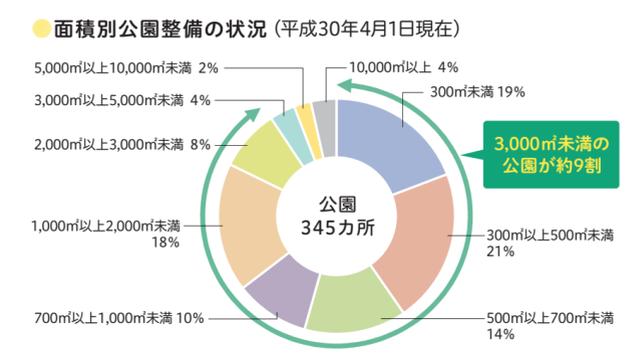
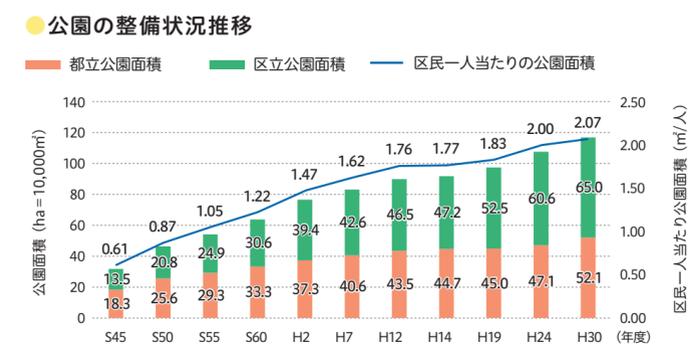
区ではこれまで計画的に公園整備を進め、箇所数は300を超えました。一方で、公園施設の老朽化に伴う維持管理費の増加や、公園利用に関する区民ニーズの多様化など、公園を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした背景から、公園施設(※)の再配置等による公園機能の見直しを図り、区民の意見を取り入れながら、多世代が利用できる魅力ある公園づくりを推進するための考え方をまとめました。

※公園等に付帯する遊具・ベンチなどの施設。

——問い合わせは、みどり公園課公園企画係へ。

杉並区における公園の現状

区内の公園整備面積は着実に増えている一方、3,000㎡に満たない規模の小さな公園が約9割を占めています。

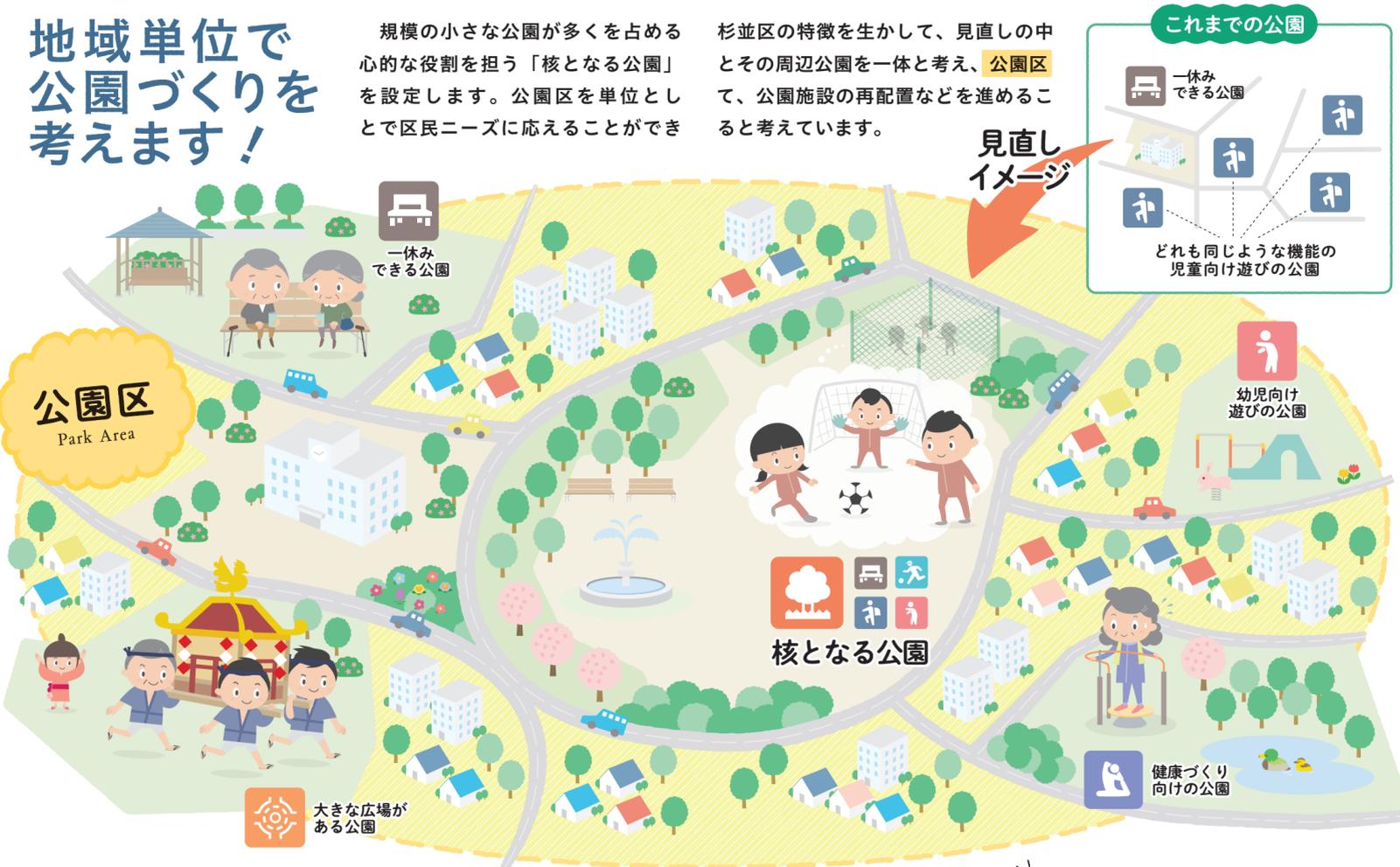


区民からの声

一休みできる公園

この辺りで休めるところはないかなあ

ゆっくり休める場所があればいいのに



区民からの声

ボール遊びができる公園

みんなでサッカーがしたいなあ

思い切りボールが蹴れたらいいのに

区民からの声

大きな広場がある公園

地域を盛り上げるイベントをやりたいなあ

お祭りもできる大きな広場があればいいのに

区民からの声

健康づくり向けの公園

最近運動不足だわ

高齢者でも気軽にできる運動器具があればいいのに

公園の新しい取り組み事例

Advanced case1 | キッチンカーの試行

区立公園で、事業者によるキッチンカー(移動販売車)を利用した飲食物の販売を試行しています。公園の魅力向上・にぎわいの創出を図ります。

Advanced case2 | バリアフリーのトイレを整備

高齢者や障害がある方でも、誰もが快適に利用できる「だれでもトイレ」の設置を拡大しています。

Advanced case3 | すくすくひろばの設置

乳幼児向け遊具を多くそろえ、床面もクッション性のあるものになっています。小さなお子さんでも安心して遊べるよう整備されています。

地域の皆様のご意見を伺っています!

ワークショップの紹介

公園機能の見直しに当たっては、地域の皆さんとワークショップ(話し合いの場)を開催しています。皆さんにとって理想の公園とは何かを話し合っ、改修案に生かしていきます。

和泉二丁目公園近隣のワークショップの様子